

びるっぱ

Vol.427 2



75th
anniversary
CHIKAMORI
1946~2021

ARIA2021 参加報告
 研修医学会受賞ラッシュ
 JCEP最高評価連続受賞
 モデル事業実施施設
 〈薬剤師の卒後研修〉

表紙の写真
 近森病院外来センター3階にて
 [75周年企画] 社史パネルを展示中

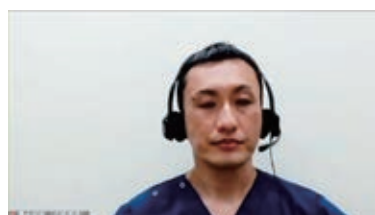
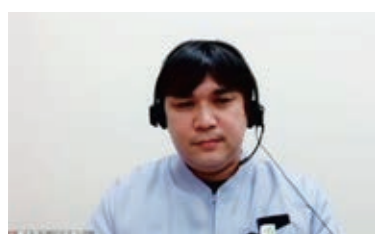
学会参加

ARIA 2021 (中四国九州カテーテルインターベンション研究会)

Alliance for Revolution and Interventional Cardiology Advancement

参加報告

2021年11月19~21日
参加人数/2,516名



▲近森病院スタッフが多く登壇した。写真は上から、循環器内科の關部長、臨床検査技師の榎本主任、臨床工学技士の豊永主任。

近森病院 循環器内科 科長 細田 勇人
ほそだ はやと



ARIAとは

2021年11月19日から21日にかけて、中四国九州の医療施設が中心となり、日本最大規模の循環器カテーテルインターベンション研究会であるARIAが開催されました。低侵襲治療であるカテーテルインターベンションは年々進化しています。冠動脈の治療のみならず、下肢血管治療、弁膜症治療もカテーテルによる低侵襲治療で行われる時代になっております。ARIAの理事である川井をはじめ、当院循環器内科からも多くの医師・コメディカルが参加しました。

多くの近森スタッフが参加しました!

実際に治療している状況をLive中継しながら、より良い治療を検討するライブオペレーターとして、西田が登壇しました。また、下肢動脈治療のセッションでは關が登壇し、最新の下肢動脈治療について講演しました。現在増加する心不全治療についてのセッションには細田、新たな弁膜症治療のセッションには菅根が登壇し、適切な治療介入について議論しました。小松は若手医師代表として、四国での若手医師研修の現状について報告しました。また、コメディカルの活躍も目立ち、心電図に関する講義を臨床検査技師の榎本が担当し、臨床工学技士の豊永も最新の補助循環装置であるImpellaについて講演しました。

高知県の循環器医療を世界水準に

多くの近森病院循環器科の関係者が、このような機会を得て、最新・最適な治療法について全国の医師・コメディカルと知識の共有を行うことができました。私達は、このような経験を元に、高知県の循環器医療に世界水準の最新の技術と知識を還元していければと思っています。

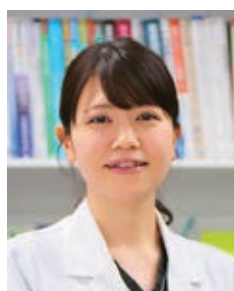


Live中継された実際の治療。右端は、ライブオペレーターを務めた西田部長。

学会発表

American College of Rheumatology

2021年11月3~9日



近森病院
糖尿病・内分泌代謝内科
/リウマチ・膠原病内科
小笠原 真沙実
おがさわら まさみ

学会名 | ACR Convergence 2021

論文名 | Knee-Deep in Trouble?
(A case of Acquired Hemophilia A associated with SLE)

今回2021年アメリカリウマチ学会にて、リモートでの症例発表をさせていただきました。急性単関節炎を主訴に受診され、後天性血友病の診断に至った症例を報告しました。今後の教訓も含めて新しい課題に気づきを得ると共に、最新の知見について講演を拝聴し、知的怠慢を再認識した時間になりました。今回、貴重な勉強の機会を与えていただいた事を無駄にせず、今後も日々精進していきたいと思っております。

Session Name: Thieves Market Posters: Adult Cases
Presentation ID: 1822608
ACR Convergence 2021

Knee-Deep in Trouble?

Masami Ogasawara¹, Takeshi Yoshida¹, Yoshitaka Kumon¹
¹Department of Rheumatology, Chikamori Hospital, Kochi, Japan

CBC	
WBC	6400 / μ L
Neu	77 %
Hb	12.9 g/dL
Plt	14.2 x 10 ⁴ / μ L
ESR	76 mm/hr

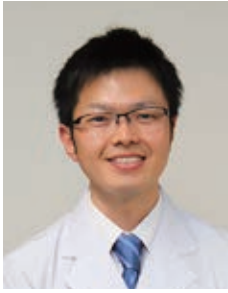
Urea-Nitrogen	
Protein	none
OB	none

Chemistry	
LDH	221 IU/L
CPK	62 U/L
CRP	1.11 mg/dl
Liver function	normal
Renal function	normal

Case Investigation

MSK X ray: normal
ECG/HR: 75/min
CXR and chest CT: normal

研修受け入れ



「青野!近森病院に行ってくれないか?」

研修期間/2021年5月1日~12月23日

愛媛県立中央病院 循環器内科 青野 哲哉 先生
あおの てつや

ちょうど1年前、所属先(愛媛県立中央病院)のボスに突然面談室に呼び出されました。呼び出しと言うだけで胸騒ぎがする比較的優等生の私が恐る恐る入室すると、上記のように伝えられました。

一瞬クビ!?かとも思いましたが、「EVT(主に下肢動脈のカテーテル治療)の研修に」とのことでした。全国的に有名な近森病院での研修は不安の方が大きかったですが、初日からウェルカムな空気でも迎えていただいたのを鮮明に記憶しております。

実際研修が始まると圧倒的な症例数を研修医と共に丁寧に消化し、「アカデミックな野戦病院」という印象でした。他科との垣根も低く、消化器の先生に囲まれた医局も常にアットホームな雰囲気でした。



EVT手技後に。
右から、關部長、渡邊科長、青野Dr、今井科長。

8ヶ月という短い期間ではありましたが、私にとって近森病院でしか経験出来ない特別な時間となりました。皆様へいただいた貴重な経験を愛媛で少しでも多く還元出来るよう今後も精進していきたく存じます。本当にありがとうございました。



手指衛生強化月間ラウンド 2021年12月

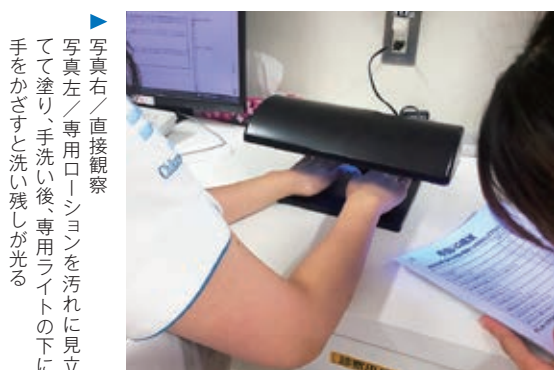
近森病院 感染対策委員会



手指衛生(手洗い・手指の消毒)は、病院で働く医療従事者の日常です。コロナ禍の今、さらに手指衛生が重要な感染対策であることは周知されていると思います。感染制御部と看護部リンクナース会の合同で、12月は「手指衛生強化月間」として、適切な手指衛生ができるよう取り組みました。



▶ パームスタンプ(手形スタンプ式寒天培地)



▶ 写真右/直接観察
写真左/専用ローションを汚れに見立てて塗り、手洗い後、専用ライトの下に手をかざすと洗い残しが光る



感染対策

研修医

学会受賞ラッシュ!!

ダブル受賞、おめでとーうございます!

第119回 日本循環器学会四国地方会
学生・初期研修医セッション

優秀賞 受賞

演題 | 重症両下肢虚血の治療に難渋した
外傷性腹部大動脈閉塞の一例

第125回 日本内科学会四国地方会
研修医奨励賞 受賞

演題 | 洞不全症候群を契機に診断された
心臓原発悪性リンパ腫の1例

緊張の2日間、初めての受賞

この度、日本循環器学会四国地方会で優秀賞を頂くことができました。初めてのWeb開催での学会発表に緊張しましたが、夜遅くまで何度もご指導頂いた衣笠先生、入江先生をはじめ心臓血管外科の先生方のおかげで、当日まで安心して取り組むことができました。本当にありがとうございました。

また、日本内科学会四国地方会にて、研修医奨励賞を頂きました。ご指導いただきました竹下先生をはじめ、循環器内科の先生方には大変お世話になり、感謝申し上げます。指導医賞という形で、竹下先生と一緒に受賞できたことも本当に嬉しく思います。

循環器の先生方に良い報告ができ大変光栄です。同時に、いずれの発表も大変貴重な経験となりました。発表へ向け試行錯誤を繰り返す日々の面白さにも触れることができました。今回の経験を活かして日々の臨床もより一層励みたいと思います。

初期研修医
1年目
廣瀬 聡一郎
ひろせ そういちろう



第127回 日本消化器内視鏡学会四国支部例会

研修医・専修医 優秀演題賞 受賞

演題 | 左胃静脈異所性還流による胃の鬱血が
原因と思われる消化管出血の1例



研修の終わりに

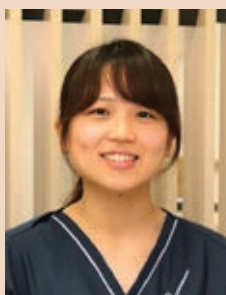
初期研修医 小林 海里
2年目
こばやし かいり

今回の発表では、左胃静脈が肝臓内の門脈に直接合流するという大変稀な血管奇形が原因で消化管出血を繰り返した症例について発表させて頂きました。研修期間が終わりを迎えようとしている中、このような賞を頂いたことは大変嬉しく思いますし、さらに身の引き締まる思いです。また今回の発表につきましてご指導頂きました榮枝先生、岡田先生を始め、消化器内科の先生方には大変お世話になり、この場を借りて御礼申し上げます。



第116回
日本消化器病学会
四国支部例会

日本消化器病学会 研修医奨励賞 受賞



初めての 学会発表

初期研修医 1年目
吉本 公美
よしもと くみ

この度、第116回日本消化器病学会四国支部例会において、上記演題にて日本消化器病学会研修医奨励賞を受賞させて頂きました。コロナ禍でなかなか学会発表の機会がなく、ウェブ開催でしたが先生方にご指導して頂き、このような賞を受賞でき、



第83回 日本臨床外科学会総会 研修医Award 受賞

演題 | 小腸腫瘍による腸重積に対して
外科的治療を施行した1例

初めての学会で

初期研修医1年目 津風呂 秀生 つぶろ ひでき

この度、11月18日から20日に開催されました第83回日本臨床外科学会総会におきまして、研修医Awardを受賞しました。

初の学会発表で緊張しましたが、このような賞を頂き大変光栄です。お忙しい中ご指導頂いた塚田先生をはじめ、消化器外科の先生方のおかげだと感謝しております。

今回の受賞を励みにこれからも日々努力を怠らず精進して参りたいと思います。

演題

抗菌剤自己中断により鈍痛が持続した
Fitz-Hugh-Curtis症候群(FHCS)の1例
-FHCS急性期診断における腹部Dynamic
CTと尿中抗原検査の有用性も含めて

とても嬉しく思っております。また今回の受賞により、今年の4月に第108回日本消化器学会総会への招待を頂いております。とても貴重な経験に感謝し、今後の研修もさらに頑張っていこうと思っておりますので、これからもご指導の程どうぞ宜しくお願い致します。



連続受賞！ JCEP 最高評価

連続受賞は
全国で
2病院のみ！

※NPO法人
卒後臨床研修評価機構
1月20日付確認



エクセレント賞受賞 ～卒後臨床研修評価機構 (JCEP)の認定更新～

初期臨床研修管理委員長 / 三木 俊史
救急科 科長 みき としふみ



エクセレント賞(最高評価)をいただいて

昨年11月に卒後臨床研修評価機構(JCEP)の認定更新審査を受審し、前回の2017年の受審に続き、最高評価であるエクセレント賞をいただきました。当院の臨床研修プログラムは環境、システム共に高い水準に確立されたものと自負していますが、今回それが評価され、嬉しい結果となりました。

評価内容について

評価のまとめのコメントでは「研修医は指導医のみならず病棟に常駐する多くの職種からも指導を受けて満足度の高い臨床研修を行っています」と評価していただきました。これはまさに永年当院がチーム医療を実践してきた努力の賜物と存じます。また、今回新たに評価された点は、360度評価が相互にしっかり行われていることが全国の模範となるべく素晴らしいとお褒めの言葉を頂きました。一方、インシデントレポート提出件数や研修医の時間外勤務についてご指摘をいただきました。それぞれ既に取り組みを始めておりましたが、引き続き進めて行きたいと思っております。

終わりに

今回の受審を通して、指導医・上級医をはじめ、メディカルスタッフ全員で初期臨床研修に取り組んでいただいていることを改めて感じられた機会となりました。初代初期研修医だった私の初期臨床研修プログラムからは時代が変わりましたが、その都度時代に合わせ柔軟に対応しながらも当院の指導医の先生方は変わらず医師としてのプロフェッショナリズムとは何かを背中で見せ続けてくれています。最後に今回受審にご協力いただきました皆様方、誠にありがとうございます。



モデル事業実施施設 ～薬剤師の卒後研修～

研修期間／2021年11月1日～2022年1月31日

薬剤部 部長 筒井 由佳
つつい ゆか

当院薬剤部では厚生労働省が実施する「令和3年度卒後臨床研修の効果的な実施のための調査検討事業」のモデル事業実施施設として、2021年11月から、4月に勤務を開始した薬剤師3名(当院1名、保険薬局より2名)の卒後研修を行っています。薬物療法の高度化・複雑化等に対応するため、臨床での実践的なスキルが薬剤師に求められる現状を踏まえ、事業実施施設での研修結果を卒前研修と連携した標準的な薬剤師卒後研修カリキュラムの作成に繋げていくことがこの事業の目的です。

当院では超急性期から回復期などを経て地域へ患者さん

卒後研修



NSTカンファレンスで多職種と実地で学ぶ。

が帰っていく過程での病態、薬物療法、薬剤師としての関わりの変化、連携、チーム医療について学ぶことを柱に、他部署や複数の施設での研修を取り入れています。この原稿掲載時には3か月間の研修期間を終え、研修生は各自、職場での仕事に復帰している予定です。

短い期間で伝えられることには限界がありますが、薬剤業務の基本だけでなく多角的な視点、他職種へのリスペクト、将来にわたり主体的に学ぶ姿勢といった医療人としての基礎を作り、今後活かせる研修になっていることを願います。

研修生の皆さんよりひんがし



アイン調剤薬局
河野 雄一さん
この ゆういち

近森病院では無菌調剤などの調剤室業務、急性期から一般病棟までの病棟業務などを幅広く学んでいます。コロナ禍が原因で十分な実務実習が出来なかったので、この研修で少しでも多くのことを学び取ってほしいと思います。



カイセイ薬局
飯田 万葉さん
いだ まよ

研修では、多職種の中で薬剤師がどのように介入をしているのか等を実践的に学んでいます。患者の服薬アドヒアランス向上は私たち薬局薬剤師が大きく関わることが出来るため、薬業連携を促進し継続的なフォローをしていきたいです。



薬剤部1年目
西岡 和
にしおか いずみ

11月から病棟や他施設での研修が始まり、病棟での薬剤師の仕事や、患者さんや他職種との関わりを経験しています。調剤室での業務とは見るところや考えることが違い、毎日たくさんのことを学べて充実しています。

高知ハビリテーリングセンターより



安全衛生委員会100回目を迎えました

衛生管理者 蒲原 弥華
就労・地域部 部長 かもはら みか



毎月、産業医の北村龍彦先生にお越し頂き、安全衛生委員会を実施しています。施設内ラウンドの中で様々な助言を頂き、改善をしています。2013年9月から開始して8年4ヶ月、この度100回目を迎えました。今後も先生にご指導を頂きながら、職員、利用者の健康と職場環境改善に向けて、職員全員で取り組んでまいります。

安全衛生委員会 活動内容

- 安全衛生に関する最新の情報提供
- 職場環境の巡視
- 職員の健康不良者、メンタルヘルスへの支援



施設内37カ所を約2時間かけてラウンドして頂いています。



システム導入

年末調整のWeb化

総務部総務課 小松 左和
課長 こまつ さわ



▲ 導入メイン担当者

2021年の年末調整は、今までの紙面提出からWeb申告に変更しました。年末調整専用ページにログインし、質問に回答していく方式なのですが、入力が難しかったと感じる方と、案外簡単だったと感じる方に分かれたようです。今回は初年度のため、扶養家族の情報や保険等の入力が必要でしたが、この申告内容は来

年に引き継がれます。また、入力誤りに関しても、お知らせの上修正させていただきますので、次回からはスムーズに、より正確に入力できるのではないのでしょうか。

総務課としては、申請内容の確認作業は継続して必要ですが、①申告用紙を配布→②回収した6,000枚(3枚×2,000名)の用紙を職員番号順に並べ替え→③提出の有無をチェック この無益な単純作業が省略でき、未提出者への督促が速やかに行えるようになっただけでも随分と効率化できたと考えます。

源泉徴収票もパソコンやスマホから確認、印刷できますので、紛失の心配がなく、複数枚必要となった場合もご自身で対応いただけるようになります。



ネット申請で
これだけの紙資料が
要らなくなりました!

導入にあたって、
診療支援部ICT推進課に
ご協力いただきました。

▶ 年末調整専用ページ



募集

近森病院 看護師特定行為研修 受講生募集



願書受付 / 2022年3月1日(火)~3月18日(金) 17:00 必着

さらに詳しく →



問い合わせ先

社会医療法人近森会 近森病院
看護師特定行為研修事務局
TEL / 088-822-5231
(平日8:30~17:00)

※1、※2、※3、※4「保健師助産師看護師法第37条の2第2項第1号に規定する特定行為及び同項第4号に規定する特定行為研修に関する省令の施行等について」に示される「外科系基本領域パッケージ研修」、「術中麻酔管理領域パッケージ研修」、「救急領域パッケージ研修」を指す。但し、※3については「集中治療領域パッケージ研修」に区分別科目「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」を加えたオリジナルのコースとしている。

No.	コース名	
I	栄養コース	
II	創傷コース	
III	外科系基本コース ※1	
IV	麻酔コース ※2	
V	集中治療コース ※3	
VI	救急コース ※4	
VII	選択コース	PICC
		呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連
		胸腔ドレイン管理関連
		腹腔ドレイン管理関連

安全運転講習会

2021年12月17日

近森会では公用車を運転するスタッフを対象に通常、毎年2回講習会を実施していますが、コロナ禍のために延期になっていました。

今回実施に当たってはMS&AD インターリスク総研株式会社より近藤邦利先生を講師にお招きして実施し、68人が参加しました。



保育室そると 絵本寄付



子どもの本の童話館グループ様より、絵本を寄贈いただきました。ありがとうございました。

近森会グループ
献血 2/10(木)
12:30~17:00

400ml限定のお知らせ

場所 近森病院 本館
正面玄関前

※献血参加数 上位職員
の表彰式を同時開催

「協力お願いします!」

施設認定



下肢静脈瘤に対する血管内治療
実施基準による実施施設

熱烈応援 昇格人事

近森会グループで元気に働く仲間を紹介します



どないかせないかん!!

近森病院 脳神経内科 主任部長
兼 リハビリテーション科 部長

細見 直永 ほそみ なおひさ

2020年1月に入社して以来、あっという間の2年間を過ごさせていただきました。その間、ほとんどコロナ禍にまみれ、高知のうまいもん(食事処)、いいところ(観光地)の開拓もできずにいます。落ち着いているタイミングにでもお誘いいただければ嬉しいです。

また、高知の脳卒中医療を少しでも向上すべく知恵を絞っております。妙案をお持ちの方は是非お声がけください。

【出身大学】香川医科大学 1992年卒業

【専門分野】脳血管障害

【主に担当する疾患・手技】

脳梗塞、頸動脈狭窄症

【所属学会・認定資格】

・広島大学医学部客員教授

・日本内科学会・総合内科専門医

・日本神経学会・神経内科専門医・指導医

・日本脳卒中学会 専門医・指導医

・日本老年医学会・老年病専門医・指導医

・日本循環器学会・循環器専門医

・日本動脈硬化学会・指導医

・日本リハビリテーション医学会・

リハビリテーション科専門医・指導医

・Fellow of American Heart Association

・Fellow of World Stroke Organization

・Fellow of European Stroke

Organization

初心を忘れずに

臨床検査部 近澤 香奈
技師長代理 ちかざわ かな

今回、技師長代理に就任させていただきました。今村前技師長が築かれてきた臨床検査部を引き継ぐにあたり、その責任の重さに身の引き締まる思いです。これからも初心を忘れず、一步一步前を向いて進んでいきたいと思っております。

それと共に、スタッフが生き生きと働き、活躍できる環境作りに取り組んでいきたいと思っております。



ハッスル研修医

理想の血液内科医

初期研修医1年目 日比 勝貴 ひび まさき

18歳まで高知で育ち、浪人生活や大学生活を含め19歳から28歳まで県外で過ごしておりました。

近森病院を研修先を選んだ大きな理由は、今まで支えてくれた家族への感謝の気持ちを間近で伝えることが出来たこと、高齢化医療におけるcommonな疾患や救急医療を学び、医師として幅広く対応出来るようになりたいと思ったからです。

近森病院での研修は辛い時期もありましたが、長期入院や短期入院の患者の担当医として、主体的に患者や家族と接する機会が多く、その方々の気持ちに寄り添いながら医療を行うことの大切さや難しさ等を経験出来ております。将来は血液内科医になろうと考えており、こういった経験は非常に良い経験になっております。また、血液疾患では緊急対応が必要となってくることもあり、近森病院の特徴でもある急性期医療や救急医療等を通じて、様々な対応を学びたいと思っております。頑張っていきますので、職員の皆様、今後ともよろしくお願い致します。



New face

ニューフェイス

- ① 所属 ② 出身地 ③ 最終出身校
④ 卒業年次 ⑤ 趣味など

大津留 祥

おおつる しょう



- ① 脳神経内科 医師
② 長崎県
③ 高知大学
④ 2017年
⑤ 息子と闘いごっこをするために、戦隊ヒーローの名乗りを日々練習しています。変身中に攻撃してはいけない…。

書籍紹介

精神科 田村 雅一 先生
たむら まさかず

随筆

『一期一会 その参』

2021.12.25 発行



ゆっくり…! 漢方薬の読み心地

「出逢いはいつも新しい」。この実感を強め、社会事象を眺め続ける田村先生の随筆は12冊。太陽を巡る木星の12年を彷彿とさせ、力を与えられます。感染症に対する先生の教訓は「経験したことがない非常事態には誰も対処法を知らないという当たり前の事実を知らされた。専門家を当てにせず自分で判断し、しかるべく行動するしかない」。混沌の時代の暮らし方を説くエッセイ。お求めは総合心療センター秘書、または金高堂本店で。

退職

ごあいさつ

臨床工学部 技士長 **深田 和生**

ふかた かずお

在職 1984.3.26~2021.12.15

私を人として成長させてくれた近森病院に、感謝

理事長のお気に入りの場所

正幸理事長が院内のお気に入りの場所として選んでくれた透析室。そこは正博前理事長が開設し、正昭部長と正幸理事長が引き継いできた近森一族直属の部署です。そこへ1984年に入職しましたが、当時は臨床工学技士という職種はなく看護部所属の透析認定士でした。その後1988年に国家資格化され1992年に臨床工学部として独立しました。2000年以降は業務を拡大し現在の両副院長をサポートするチームもでき、つくづく近森の中核に仕える部門なんだと運命を感じました。

思い出は語り切れませんが、多くの失敗をしながら成長させていただきました。やりたいことは比較的自由にやらせてもらったので、苦労もありましたが技士としてはやりがいのある時代を過ごしてきたように思います。それもこれも頼りになる仲間と上司に恵まれていたからこそできたことです。



故・近森正昭 透析外来部長 兼 臨床工学部部長との思い出

その中でも正昭部長は、上司ではなく同志と思わせてくれた医師でした。近寄り難く誤解されることもありましたが、近森の発展だけを考え「儲けて、やりたいことができて、皆がハッピーになる病院」を追い求めていました。私は多岐に渡るマネジメントを教わり実行してきましたが、今更ながら正昭部長に生かされていたのだなと実感するばかりです。

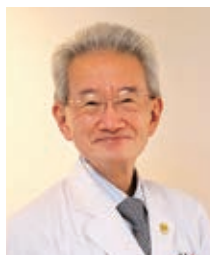
常に進化し続ける怪物

これからの臨床工学部は平野副部長のもと新しく生まれ変わり、常に進化し続ける怪物のような近森病院は斬新な思考で新たな近森病院を築き上げて行くことでしよう。Monster Chikamori Forever!
ありがとうございました。



▲ ひろっば1989年1月号

急性期基幹病院のあるべき透析センターを作り上げて下さった深田技士長に感謝して



近森病院 院長

近森 正幸

ちかもり まさゆき

深田 和生 臨床工学部 技士長は1984年3月透析認定士(臨床工学技士の前身)として分院(現、第二別館)に入職、近森正昭 腎・透析センター部長の指導のもと、当時の松木秀樹臨床工学部長を支えながら管理者としても成長され、実務面で営々と努力をして下さいました。

タスクシフティングの実践

タスクシフティングの実践

分院時代は社会的入院患者の退院を促進し、外来透析に転換するばかりでなく、当時透析施設がなかった郡部の患者には、積極的にCAPD(持続腹膜透析)を導入し、在宅療養を行いました。正昭部長は透析の

指示を出すだけで、すべての権限を委譲された透析技士が業務のほとんどを行うというタスクシフティングを今から40年近くも前から実践してくれています。

データに基づいた透析室の運営や業務改善

深田技士長は労務管理ばかりでなく、年々下がる診療報酬に対応して様々なコストダウンに取り組み、透析記録の電子化の早期導入、透析機器の当院技士による完全メンテナンス、さらには患者情報の収集を積極的に行い、データに基づき透析室の運営や業務改善を行い続けてくれました。

2006年からは外来維持透析患者をできるだけ制限し、急変患者や合併症の治療といった急性期の透析入院患者の受け入れを一度のお断りもなく積極的に行いました。当時、50名程の紹介入院患者は2020年に

は高知県下の全透析施設39施設から年間464名とほぼ10倍に増加、紹介元への復帰率も97%に上がっています。

重症患者の増加に伴い、集中治療病棟79床すべてに透析の配管を行い、重症患者の病棟透析もいつでもどこでも出来るように推進してくれました。また、2000年の心臓血管外科の開設に伴いACEチーム、2009年には心臓カテーテルのサポートを行うCSチームの立ち上げにも尽力しています。

感謝を込めて

正昭部長と二人三脚で、急性期基幹病院のあるべき透析センターを作り上げて下さったマネジメント能力の素晴らしさに感心するとともに、長年のご労苦に深く感謝しています。退職後は広大な実家と畑のお世話に専念されるとのことですが、今までの肩の荷をおろして田舎の生活を楽しんで下さい。



リレーエッセイ



野営

近森病院
SCU病棟
看護師

出原 弘貴

ではら ひろき

皆様はこのコロナ禍のようにお過ごしでしょうか？私事ではありますが今年から野営を始めました。コロナ禍に入り三密などの影響もあってキャンプやグランピングが流行っていますが、皆さんは野営はご存知ですか？簡単に言うと整備されてない山の中や、河原で行うキャンプのことです。整備されておらずテントを設営しにくいことや、トイレがない事などデメリットもありますが、自分達しかいない事や自然をめいっぱい楽しめるメリットがあります。野営で過ご



す時間はどの時間にも有意義ですが、特に焚き火が好きです。まだまだ初心者で、焚き付けや燃やし続けることが他の方に比べ上手くはないですが、それでも「パチパチ」という薪が燃える音、この寒い時期の暖、揺らめく炎が堪らなく大好きです。それと皆と食べるご飯、お酒は格別です。焚き火で作る料理は火力の調節が難しいのですが、作った料理が美味しいと言って頂けると本当に嬉しいです。まだ冬の野営しか経験してないのですが、早く全ての四季を体感したいです。

FREE

まるまる 私の〇〇

〇〇にフリーワードを入れて語っていただきました

私の「家族」

近森病院
救命救急センター(ER)
看護師

岩戸 優樹

いわど ゆうき

私は昨年10年間働いた京都の病院を離れ、4月から近森病院へ就職しました。念願のERに配属され、高知の救急なら近森との噂通りの忙しさに驚きながら、先輩方の背中を追いかけるのに必死な毎日です。また高知に知り合いのいない私は、地域の繋がりを作るために消防団にも所属し活動しています。ちょっと疲れたなと思う時もありますが、そんな時いつも支えてくれるのは、私の自慢の家族です。家族を大切にこれからも全力を尽くします。



私の趣味



私の楽しみ

臨床検査部 臨床検査技師

岩井 亜優

いわい あゆ



趣味という趣味のない私ですが、13歳離れた従姉妹のダンス発表会やよさこい祭りを見に行くことが唯一の楽しみです。

従姉妹は私も通っていたダンススクールに年少の頃から通っていて、年々ダンスが上手くなっていく姿、また、家で楽しそうに練習している姿がとてもかわいいです。従姉妹がダンスを始めて2年間は同じ舞台上に立ち踊っていましたが、高校卒業と同時に私はダンスを辞めてしまいました。今は従姉妹の成長を見るのが楽しみです。

一昨年はコロナの関係で、1年に1回の大きな発表会を人数制限で見に行く事が出来なかったのですが、去年見に行くとお客さんの前で楽しそうに踊る姿に感動しました。コロナが落ち着いてもっとたくさんの人の前で踊ることが出来るようになってほしいです。よさこい祭りは2年連続開催されていませんが、コロナが終息し開催されるようになったら、私も踊りたいと思います。



歳時記

花水木様に活けていただいた正月花
(写真右/近森病院 左上/リハ病院)と、
玄関の門松(写真左下/オルソ病院)



1年が良い年になるように
という願いを込め、正月飾り
を各病院に飾りました。

新年飾り & 成人式

近森病院附属看護学校2年
右/奥野 桜子(おくの さくらこ)
中/鈴木 龍慧(すずき りゅうずい)
左/梅崎 ひなた(うめざき ひなた)



1月10日、晴れやかに
成人式が執り行われました。
数少ない年中行事が無事
開催でき、楽しい思い出を
作ってくれたことと思います。



75th
Anniversary
CHIKAMORI
1946~2021

周年企画

75周年 記念写真集 撮影のお知らせ



75周年を記念して、「近森会グループの今!」
をテーマに1月より各部署で集合写真を撮影して
います。お忙しいとは存じますが、ぜひ楽しい思い
出作りに、撮影にご協力ください!



看護学校通信

やっとできるクリスマス会

近森病院附属看護学校 専任教員 **上総 満高**
かずさ みつたか

写 真はクリスマスイブに開催する「クリスマス会」の準備の様子
です。クリスマス会は、毎年学生自治会が主催する目玉行事
の1つです。以前はケーキや軽食を囲み、賑やかに開催してしま
したが、コロナ禍ではそれもできなくなりました。学園祭やスポーツ大会
などの学校行事が軒並み中止となりましたが、1年の締めくくりとして
開催するクリスマス会は、きっと学生たちの思い出の一コマになると
思います。

ちなみにこの記事は、クリスマス会の2日前に書いたものです。この
様子は看護学校のInstagramでお伝えする予定ですので、是非
ご覧ください。



▲プレゼントはお菓子の詰め合わせ



フォローを
お願いします!



編集室通信

先日、『予祝』という言葉の意味とともに素敵な
笑い文字のカードをいただきました。『予祝』と
は、夢が叶っている未来を前もって喜び、先に
祝うことで実現を引き寄せるという、日本古来の
考え方だそうです。ちょっとステキな考え方だ
と思いませんか。癒しと頑張ろうというポジ
ティブな気持ちにさせてくれたエピソードで
した。

充

診療数 令和3年12月

— 電子カルテ管理課 —

● 近森会グループ

外来患者数 18,504人
新入院患者数 1,131人
退院患者数 1,245人

● 近森病院(急性期)

平均在院日数 11.19日
地域医療支援病院 紹介率 97.77%
地域医療支援病院 逆紹介率 315.68%
救急車搬入件数 654件
うち入院件数 369件
手術件数 557件
うち手術室実施 377件
うち全身麻酔件数 273件



リハ部門のさらなる
質向上を目指す科長は、
電気製品の修理もこなす
DIY. パパ

高芝 潤

Jun Takashiba

近森リハビリテーション病院
理学療法科 科長
神経系・運動器 専門理学療法士

聞き手／ひろっぱ編集部

小学生時の夏休み。朝起きると、よくミラクルが起こっていた。宿題の図画工作が、まるでグリム童話の『こびとの靴屋』の様に、自分が作っていたものより数倍良い作品に生まれ変わっていたという。手を加えたのは祖父だった。高知新聞社でカメラマンをしていた祖父は仕事で多忙だった一方、孫のラグビーの試合を隠れて見に来るような、シャイだが家族を陰日向に見守る男気ある人柄で、その後ろ姿を追うように、高芝科長も仕事に邁進しつつ、私生活は近森病院の看護師である奥様と一人娘に慕われる面倒見の良いパパとなった。

不得手に克つ

曾祖父が入院したことで理学療法士(以下PT)という存在を知り、ラグビー部の友人が怪我をしてお世話になったのがきっかけでこの職業を選択した。がっちりとした体形、明瞭な話し方でラグビー部出身と聞けば、さぞかしスポーツ万能と思うが、実は運動は苦手で小中学時代は科学部というインドア派。「僕は肩が弱くて、ボールを上投げできません。唯一できた球技が下投げのラグビーだったというわけ」。友人に誘われ高校3年間はラグビーに熱中した。「当時の追手前高校ラグビー部



は、小さいメンバーばかりだったけど力を合わせ花園目前まで登りつめ、後輩は花園へ行きました」。この経験から不得意を克服することも良いものだと考えるようになった。「得意なことや器用な人は、すぐにできるから手を抜くこともある。一方、不得意なら何故できないのかを考え努力を積み重ねることで達成感も大きいからね」。

家族の時間と趣味の時間

数年前の『ひろっぱ』の記事で料理好きと紹介されていたため、「趣味は料理ですか」と問うと「今はバイク!」と即答。おもに休日の午前中、娘さんが部活の間に愛車のバイク・カワサキW800を走らせ、午後は家族と過ごすように心掛ける。「最近娘も大きくなって一緒に何かをするということは少なくなったけど、家には居て欲しいみたいで」と嬉しそう。パソコンも自作し、たいていの電気製品は自分で修理するほど器用なため、家族からもあれこれ頼られる存在。「先日排水溝が詰まって業者を呼ぼうとしたのですが、調べてみたら直せたので得をした」と笑った。

リハ部門の質的向上を目指して

職場では、リハ部門の科長として次世代育成に重点を置く。また高知県理学療法士会の教育部部長、日本理学療法管理研究会の評議委員などの肩書を持ち、PTの質的向上に努めている。「PTは、国家試験に合格すると新人もベテランも診療報酬が同じなので適当にしようと思えば適当にできます。そうなれば質も上がりません。みんなが



2年前にはSSSTR(全国のどこかの海から石川県の千里浜を目指すというツーリングラリー)に参加。今は、四国一周をする機会もうかがっている。

目標を見定めて成長することで職能としての療法士の存在価値が上がると思っています。だからこそ、制度などを整えてPTの未来づくりのお手伝いが自分の役割だと思っています」と語気を強めた。

一方で、運動器専門理学療法士のスキルを磨いてきた経験を生かして、近森会グループの「健康経営」取得にも力を注ぐ。特に医療従事者の離職理由の一つが腰痛ということに着目。「身体を酷使する看護師たちも本来なら準備体操などをするべきです。仲間が長く健康に働くためにも、ストレッチ指導などを通じて職場貢献をしていきたいですね」。

今の自分の役割を客観的にとらえ、何事も「なんとかできないか」と考える。「PTは分析しがち」と職業あるあるを教えてくれたが、経歴を聞くにつれ、もともと分析力に長け、むしろPTに向いていたと感じる。話が弾んだ頃「それでご自身の特技は何だと思いますか」と問うと「特技はない」とぼささり。そこは分析しないのかと思ったが、おそらく謙遜だろう。

